


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和2年 2月 8日

山北町議会議員 府川 輝夫 殿

受付番号	第2号	質問議員	1番	瀬戸恵津子	
件名	魅力ある水上地区町営住宅整備に向けて				
要 旨					
<p>町では、平成27年度に策定した山北町第2次定住総合対策事業大綱に基づいて、移住や定住希望者の住まいである賃貸住宅を提供するため、サンライズやまきたの整備を進め、定住対策に取り組んでいる。</p> <p>また、平成22年度に策定した東山北1000まちづくり基本計画においては、定住人口増加のため水上地区での住宅供給は、PFI等の民間活力を活用した町営住宅の再編整備が位置付けられている。</p> <p>平成26年には岸地区に大型商業施設等が出店し企業誘致も進み、生活も便利になってきている。しかし人口減少に歯止めがかからず、相変わらず厳しい状況である。アンケート等に表れる若い世代の意向は把握していると思うが、20代から30代の若者・子育て世代に移住してもらうためには、交通の便、就労の場、子育て支援施設、子どもの居場所、屋外での遊べる広場等ライフスタイルに対応した周辺整備の充実が必須条件であると考えます。</p> <p>そこで住宅の整備について質問する。</p> <p>1) 事業手法であるPFI事業について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①事業導入にあたり町の財政負担や民間事業者の見込みは。</li><li>②入居者の見込みは。</li><li>③国庫補助の活用は。</li></ul> <p>2) 現在のサンライズやまきた42戸とサンライズ東山北25戸に水上住宅が建設されると、人口減少社会に向かっているという現実に対し、どれだけの効果を見込んでいるのか。空き室のリスクの考え方は。</p>					

3) 子育て世代に魅力ある住宅にするためには、周辺の公的な施設の見直しや新東名宿舎跡地、周辺の土地活用等は地域の協力が必要だが考え方は。

4) 住宅のコンセプトは何か。東山北 1000 計画の実現のためこのような住宅整備は、2期3期と予定されることも視野にあるか。